

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3248号 2016.9.9 発行

子どもたちの自由な居場所 ジャガピーパーク

大阪日日新聞 2016年9月9日

西成区津守3丁目の津守小・幼稚園の跡地に子どもたちが遊んだり、学んだり、自由に過ごす居場所となる「にしなりジャガピーパーク」が3、4日に開かれ、2日間で小中学生ら約240人が集まった。西成特区構想の一環であるプレーパーク（冒険遊び場）モデル事業で、目標は常設化。ジャガピーパークは「遊び場」に加え、「学び場」「たまり場」の役割も担っている。



火を使ったり、水を使ったり、自由度の高いジャガピーパークで遊ぶ子どもら

子どもたちは、運動場では古タイヤとシートで造ったプールに竹製のスライダーで滑り込んだり、リヤカーに乗って走り回ったり、オクラを煮込んだ料理を作ったりと、プレーワーカーと呼ばれる専門員やボランティアスタッフが見守る中、思い思いに遊んでいた。

教室でも、お絵描きに折り紙、ビーズを作ったり、ピアノを弾いたりと自分の好きな事を満喫。中には、プログラムを作ってパソコンの中のキャラクターを動かすことに挑戦する子どもらもいた。

大阪市が運営を委託する「にしなりプレーパークプロジェクト」の横田弘美事務局長は「子どもたちの居場所になっているので、どなたでも来て。両手を広げて待っています」と参加を呼び掛ける。

友人と参加した塩草小5年の女子児童は「プールが楽しかった。また来たい」と喜んでいました。

「グッジョバ!!!」や「キッザニア」…楽しく遊んで「職業」を体感する「エデュテインメント」が人気

産経新聞 2016年9月9日

カドゥーではファッションモデルの職業体験が女兒に人気だ（イオンモールキッズドリーム提供）



遊びながら学べる「エデュテインメント」施設が人気だ。遊園地「よみうりランド」（東京都稲城市）は今年3月、敷地内に新設した「グッジョバ!!!」の効果で、8月末までの入場者数が前年同期に比べ4割増えた。草分けの「キッザニア」には延べ約1350万人が入場し、キャリア教育の場として定着している。（榎田寿宏）

ものづくりの現場

9月上旬の土曜日。グッジョバ!!!は大勢の家族連れでにぎわっていた。

甲府市の小学1年生、杉本亮君は、ノートの製造工程をモチーフにしたゲームを楽しみ、「ドキドキして楽しかった」と笑顔で話した。父親の会社員、裕昭さん（47）も「たかさんの仕事が体験できるのがいいですね」と満足そう。

グッジョバ！！がアピールするのは日本が誇るものづくり。日清食品や日産自動車など6社が協力し、自動車、食品、ファッション、文具をテーマにした4つの「ファクトリー（工場）」で職業体験できる。

「フードファクトリー」は、カップ焼きそばの工場をイメージしている。焼きそばカップの形をした乗り物で移動しながら、生地を練り上げて麺にし、油で揚げるという一連の工程を学ぶアトラクションが人気。よみうりランド企画・宣伝課の奥谷祐さんは「親子3世代と一緒に学べる工場を目指した」と説明する。



モデルにもなれる

イオンモール幕張新都心（千葉市美浜区）に平成25年、オープンした「カンドゥー」では、パイロットや救急救命士など30種以上の職業が体験できるブースを用意。疑似通貨「カッチン」で報酬を受け取るなど金銭感覚も磨かれる。

ラジオ局のブースで、天気予報のアナウンサーを体験した埼玉県草加市の小学3年生、田口結菜さんは「みんなに情報を伝えられた。働くって楽しい」とうれしそうに話した。

女兒に人気が高いのはファッションモデルを体験できるブースだ。ウォーキングなどの指導を受け、衣装を身にまとしてランウエー（花道）を歩く。同施設では同行する保護者にも配慮し、約530もの座席を設けた。運営する「イオンモールキッズドリーム」のベニユースポンサーグループ、織本真紀マネージャーは「子供が楽しんでいる間、座って様子を見たり、ママ友同士でお茶を飲んだりできる」と話す。

1350万人来場

18年にオープンした「キッザニア東京」（東京都江東区）はメキシコ生まれで、日本ではエデュテインメントの草分け的存在。21年には兵庫県西宮市にキッザニア甲子園も開設し、両施設の延べ来場者数は計約1350万人に上る。

銀行員やデパートの販売員、漫画家など90種類もの職業を体験できるのが特徴。小学校の修学旅行などでも利用され、キッザニア東京には昨年、約1400校の約9万人が訪れた。

「働く意味やお金に関する知識などを学べる教育の場として浸透した」と運営する「K C J グループ」ブランディング部の松鷹恵市部長は話す。

教育評論家の石川幸夫さんは、「情報化が進み、職業の選択肢は保護者の想像を超えて広がっている。実際の体験を通じたキャリア教育の必要性を多くの人が実感しているのだろう」と分析している。

■エデュテインメント 英語の「エデュケーション（教育）」と、「エンターテインメント（娯楽）」を組み合わせた造語。娯楽の要素を取り込んで、楽しみながらする教育プログラムや、教育のソフトウェアを指す。

もはや常識！？ブロックチェーンってなに

人工知能やビッグデータといった最先端のIT技術を活用した新たな金融サービスをさす「フィンテック」という言葉を目にしたことはないでしょうか。スマートフォンで買い物の支払いができたり、指紋で預金を引き出せたりといったサービスも、フィンテックの1つです。このフィンテックを支える基盤として、いま、注目されているのが「ブロックチェーン」

NHK ニュース 2016年9月8日



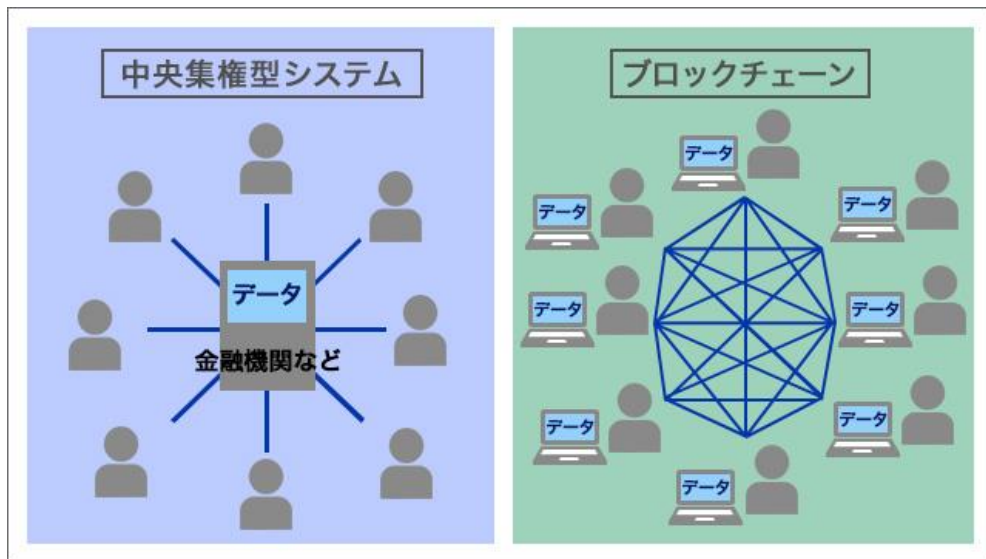
と呼ばれる技術です。いったいどんな技術で、どんな可能性を秘めているのでしょうか。
(経済部 新井俊毅)

ブロックチェーンって、ナニ？

「ブロックチェーンの実証実験を開始します」——去年の秋ごろから、金融機関が発表する報道資料に、こうした文章を頻繁に見かけるようになりました。

この「ブロックチェーン」は、インターネット上でやり取りされる仮想通貨「ビットコイン」の根幹をなす技術です。ビットコインを考案した「サトシ ナカモト」を名乗る人物が発明したとされています。

では、いったいどんな技術なのでしょう。詳しくはこれから説明していきますが、まずは、**お金の取引記録を改ざんされにくい形でしかも低コストで処理・保管できる技術**と



頭にとどめてください。
巨大サーバー不要 みんなで確認

これまでお金の取引に関わるデータは、金融機関などが巨大なコンピューター

システムで管理してきました。1つの管理者が取引データを一元的に処理することから、「中央集権型システム」と呼ばれています。

これに対し、「ブロックチェーン」では**取引データの管理者が存在しません**。ネットを通じて行われた金融取引のデータは、特定のサーバーに書き込む代わりに、ネット上に保管され、**すべての利用者が確認**できます。こうした特徴から「分散型台帳」とも呼ばれ、**大勢の利用者がデータを共有するため改ざんされにくい**とされています。

中核的なサーバーがないため大規模な障害につながりにくいという、巨額のシステム投資がいらぬため**低コストでサービスを実現**できることも特徴とされています。

「ブロックチェーン」という名前の由来はデータの保管方法にあります。取引データは、一定の量ごとに「ブロック」と呼ばれる塊としてネット上に存在する「台帳」に保管されます。この「ブロック」を鎖のように連続して記録していく形態から「ブロックチェーン」と呼ばれています。

国際送金 劇的に変化？

データが改ざんされにくく、しかも低コスト。こうした特性を生かして、金融機関やIT企業の間では、大手からベンチャーまで、ブロックチェーンの技術を応用した新しい金融サービスの開発競争が激しさを増しています。

その代表例が「**海外への送金サービス**」です。現在、日本から海外の口座に送金する場合、海外の金融機関を経由するため数千円程度の手数料がかかり、送金が完了するには数日間かかることも多いのが実情です。それをブロックチェーンの技術を活用することによって、格段に安い手数料で365日24時間、即座に送金ができるサービスの実現が期待されています。

例えば、インターネット専門銀行の住信SBIネット銀行や地方銀行最大手の横浜銀行

る実験の結果を8月30日に公表しました。この中では、データの改ざんが不可能で「極めて魅力的」とする一方、現時点では取引を処理する性能が十分ではなく、「株式市場の売買のような大量の取引には課題がある」と指摘しています。

急がれる人材の育成

ブロックチェーンを幅広い分野に活用していくには、技術面の課題の克服に加え、人材育成が欠かせません。日本国内では、ブロックチェーンの技術に精通した技術者は、一部のベンチャー企業などに限られ、全体的に不足しているとされています。

IT企業などでつくる「ブロックチェーン推進協会」は、ことし8月、人材育成を目的とした「大学校」を開設しました。理事を務める「日本マイクロソフト」の大谷健エグゼクティブプロダクトマネージャーは「日本ではブロックチェーンに関連するベンチャー企業の数も20社程度と、アメリカと比べれば1桁少ない状況だ。普及を促すためにも、業界団体としてエンジニアを育成し、さまざまな業界のニーズに合うサービスが生み出されるようにしていきたい」と話しています。



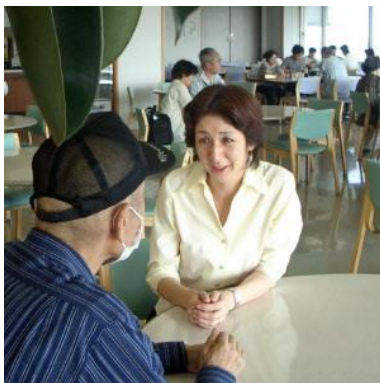
技術上の課題を抱えつつも、金融業界にとどまらない幅広い産業の競争力を左右する可能性を秘めたブロックチェーン。安全性と利便性を両立した画期的な機能やサービスが生み出されるか、目が離せなくなっています。

医療コーディネーター 患者の悩み、解きほぐす がん告知・手術…… 医師と橋渡し

日本経済新聞 2016年9月8日

病気の告知や手術による治療など、医師から重大な選択を迫られたら——。説明を聞いて従ったものの、本当にその選択でいいのだろうか、納得できているのか、誰しも思い悩むことだろう。そんな、どうしようもなく不安なときの助けになってくれるのが「医療コーディネーター」と呼ばれる人たちだ。活躍の場が広がりはじめた。

都内在住の70代の男性は、医師に前立腺がんの手術を勧められたが、決められずセカンドオピニオンを求めて4、5カ所の病院を受診。いずれでも手術以外の治療法を勧められた。それでもまだ「手術した方がいいのかも」との考えを捨てられず、医療について相談できる楽患ナース（東京・足立）を訪ねた。



医師の説明後に病院ラウンジで患者と振り返りの作業をする岩本さん

看護師で医療コーディネーターの岩本ゆり

さんは男性の胸のうちを聞く。すると企業戦士として生きてきたのと同様「病気とも積極的に戦いたい」との価値観が浮かび上がった。心底では手術を望んでいたのだ。

医療コーディネーターができること、できないこと

できること	できないこと
○電話や面談で患者や家族の悩みを聞き、問題点を明確にする	×具体的な病院や医師の紹介
○患者や家族が治療方法などを選択できるよう支援する	×本人の代わりに治療方法を選択する
○病院に同行する	×病院の予約を早める
○患者側の思いを伝え、医師の言葉をわかりやすく説明する	×医師や家族の意向に合わせ患者を説き伏せる

「何に悩んでいるのか本人も分からないことが多い」と岩本さん。思いを尊重すべく、手術を提示した医師に話を聞くよう助言。手術と他の治療法の効果の差や、体への負担など、選択するため医師に聞くべき質問項目を一緒に整理した。

医療コーディネーターなどを利用するには	
利用料金(税込)	認定の条件
一般社団法人日本医療コーディネーター協会 (info@jpmca.net、http://www.jpmca.net/)	
面談、診察同行などで1時間まで1万800円。以降30分ごと5400円。交通費など実費あり	医療・福祉資格をもち、計8日間のセミナー修了者
楽患ナース (☎03・6806・3920、http://www.rnurse.jp/)	
面談は1時間まで1万500円。以降10分ごと1750円。電話は10分ごと1750円。診察同行などは交通費ほか加算料金あり	看護師(5年以上の臨床経験)で1日セミナー受講後、面接、実地研修を受けた人
一般社団法人よりどころ (メッセージナーズ認定協会) (☎03・5386・2427、 http://www.nursejapan.com/messenger/)	
初回相談無料。単発利用は入会金1万円と訪問の場合1回1万800円、交通費実費。継続利用は入会金(終身会員10万円、年会員3万円)と基本契約料(1ヵ月1万5800円)が必要	看護師(10年以上の臨床経験)で、12回のセミナーを修了または医療者等3人以上による審査通過者

医療従事者は、患者からの質問がなければ、理解し納得したととらえがちだが、患者や家族は知識不足や不安な気持ちでいっぱい満足に尋ねられないことも。医療コーディネーターの役割は「決められずにいる人の課題を見つけ、解決を手伝うこと」と岩本さん。

話を聞くのに1時間、さらに質問を重ねて30分ほどで解決の糸口が見えてくる。必要なら病院に同行し、医師との会話を助ける。有料なので誰もが気軽に利用とまではいかないが、看護師や医療・福祉の実務経験者が多面的に助言してくれる利点は大きいようだ。

話を聞くのに1時間、さらに質問を重ねて30分ほどで解決の糸口が見えてくる。必要なら病院に同行し、医師との会話を助ける。有料なので誰もが気軽に利用とまではいかないが、看護師や医療・福祉の実務経験者が多面的に助言してくれる利点は大きいようだ。

家族からの相談もくる。岩本さんを訪れた、がん終末期の70代の母親を看病する40代女性。治療方針に納得できず転院を希望していたが、聞けば病院への不満の裏にある「親の死期が近いことを受け止めたくない」との気持ちが強かった。

岩本さんは女性に母親としっかり対話するよう促した。その後「ちゃんと話げできた」とうれしそうな声で報告があり、

母親の希望通り家で最期を迎える準備を進めたいという。岩本さんは依頼者の主治医に連絡し、在宅で緩和ケアを受けられるよう手助けした。

日本医療コーディネーター協会(東京・港)では、ホームページから相談内容を送ると、事務局からメールや電話がかえってくる。同協会の嵯峨崎泰子代表理事は「悩みの多くはこの電話相談で解消する」という。誰かに聞いてもらって整理がつくようだ。

名称は違うが、患者と家族に寄り添い、医療者との懸け橋となる看護師「メッセージナーズ」も活躍する。訪問看護師の組織をつくった村松静子さんが「看護師だからこそ実行しなければ」と立ち上げた、メッセージナーズ認定協会(東京・新宿)が認定している。現在、認定は28都道府県で91人。病院や福祉施設、教育機関など各自の職場で活動しつつ、一般向けのサービスも試行中だ。

医療技術が高度に専門化する一方で、患者や家族の心に寄り添う医療が難しくなっているとされる。急性期病院では在院日数の短縮化で、効率が優先される傾向が強い。そんななかで懸け橋はますます求められている。

■「草の根で広げたい」現場の看護師ら担い手

医療コーディネーターやメッセージナーズの担い手は、病院勤務の看護師や訪問看護ステーションを運営する看護師、病院・保健所の医療相談従事者などだ。「医療・福祉の現場にいる人たちが各自のやり方でコーディネーター精神を草の根的に広げていくのがベスト」と日本医療コーディネーター協会の嵯峨崎泰子さん。セミナー修了者を増やしている。

メッセージナーズの村松静子さんは、治療法の選択だけでなく「望む場で最期を迎

えられるよう、病院や訪問看護ステーション、緩和ケア施設などを結びつけるなど、地域包括医療の一端も担いたい」と話す。メッセンジャーナースでNPO法人オハナの前田真由美代表は、長崎県新上五島町で自宅のように過ごせるホームホスピスを運営。「島民のよりのところとなり、在宅死を選べる支援をしていきたい」と意欲的だ。(福沢淳子)

政府税調、配偶者控除の見直しに着手 「夫婦控除」への転換軸、11月めどに見解

産経新聞 2016年9月9日

政府税制調査会は9日、首相官邸で総会を開き、専業主婦世帯などの所得税負担を軽くする「配偶者控除」を見直す検討に着手した。夫婦であれば、配偶者の働き方や年収を問わずに適用する「夫婦控除」への転換を軸に議論を進める。11月をめどに見解をとりまとめる方向だ。

総会の開催は約4カ月ぶり。政府税調の見解は、与党税制調査会による平成29年度税制改正議論の材料になる。安倍政権が進める「働き方改革」を追い風に、女性の就労を阻む壁をなくす。実現すれば、約20年ぶりの所得税の大改正になる。

配偶者控除は妻の年収が103万円以下なら夫の課税所得から38万円を差し引ける仕組み。夫婦であれば、妻の収入にかかわらず一定額を夫の税額から差し引く夫婦控除に見直す案が有力視される。

夫の年収が一定額以上の世帯は対象から外すことなども検討する。所得が高い専業主婦世帯は今よりも税負担が増える見通しで反発が予想され、与党内には慎重論もある。

政府・与党は、働き方や家族のあり方が多様化する経済社会の実態に現行の所得税体系がそぐわなくなったことを踏まえ、配偶者控除を皮切りに、所得税の税負担を軽くする控除制度全体を数年かけて見直す方針だ。

政府税調ではこのほか、企業が日本より法人税率の低い国につくった子会社を利用した課税逃れへの対策強化などについても議論する。

待機児童対策に100億円超 小池知事 保育定員5千人拡充

産経新聞 2016年9月8日

補正予算案の知事査定に臨む東京都の小池百合子知事＝8日午後、東京都庁



東京都内で保育所に入れない待機児童問題を解消するため、小池百合子都知事は8日、100億円を超える規模の補正予算案を、28日開会予定の都議会定例会に提出する方針を固めた。保育所の整備を前倒しするなどして、年度内に新たに定員を約5千人分拡充する。保育人材の確保や、利用者を支援する施策の充実も図る狙い。

小池氏は庁内で開かれた予算案を検討する会合で、「すぐ効く、よく効く補正予算で、一日も早く実感のある効果を出したい」と述べた。都はすでに今年度の当初予算に待機児童対策として974億円を計上、保育定員を1万2千人増やす計画を立てており、年度内にさらに5千人分を増やす計画は、極めて高い目標設定となる。

都幹部によると、都側は当初、市区町村の整備計画などを踏まえ4千人分の増設を知事側に打診したが、さらに1千人分を目標にするよう再考を促されたという。

都は昨年度、認可保育所を158カ所増設し、定員を1万3635人分増やした。だが、待機児童は今年4月1日現在8466人と前年同期より652人増えており、抜本的な対策が求められていた。

相模原障害者殺傷事件に対する緊急行動実行委員会（DPI 他） アピール行動

- 19人ひとり一人に思いを馳せ、追悼する。
- 「障害者はいなくなればいい」存在ではない。
- 措置入院の強化、施設や病院の閉鎖性を高めることに抗議する。
- 障害の有無によって分け隔てられないインクルーシブな社会をつくる。地域生活支援の飛躍的拡充を求める。

日時：2016年9月26日（月）12時-17時

第一部 追悼集会：12時-14時30分 場所：参議院議員会館大講堂（東京都千代田区永田町2-1-1）

・「相模原障害者殺傷事件の犠牲者を追悼し、想いを語る会」

・追悼、参加者アピール、集会アピール採択等

第二部 アピール行進：16時-17時 場所：日比谷公園⇒東京駅方面・鍛冶橋交差点

JD 緊急企画 ◆ 相模原事件を考える緊急ディスカッション

日時：2016年9月28日（水）午後1時半～3時45分

場所：参議院議員会館 講堂（東京都千代田区）

定員：180名 参加無料 *定員になり次第締め切りますので、お早めに申し込みください。

*要約筆記、手話通訳、点字資料(要約)あります。

開催趣旨 相模原市の津久井やまゆり園で起こった障害者殺傷事件から2か月余りが経過しました。多くの人を震撼させたこの事件は、障害者・関係者の心に突き刺さったままではないでしょうか。障害分野に関わる人だけでなく、精神医療、司法、研究者など様々な立場・視点から総合的に問題が解明されなければなりません。追悼集会やさまざまなアクションも展開されています。

今、この事件とその問題を検証し、私たちはどこへ向かうのか、何をなすべきなのかを、すべての人たちとともに考える場としたいと思います。

◆ プログラム ◆

・黙祷 司会 増田一世 JD 常務理事

・あいさつ 藤井克徳 JD 代表

《発言》

三宅 浩子 当事者（知的障害・夢21）

太田 修平 当事者（肢体障害・JD 理事）

新井たかね 入所施設関係者（親御さん）

斎藤なを子 施設役員

金子 健 日本発達障害連盟会長(JD 理事)

迫田 朋子 ジャーナリスト（元 NHK）

石渡 和実 研究者(JD 副代表)

川田 龍平 国会議員 ほか、調整中

◎ご参加の国会議員から一言

◎フロアから指定発言ー精神障害関係

関口 明彦 当事者（精神）

小幡 恭弘 家族会（みんなねっと）

・アピール 相田(そうだ)あずさ（知的障害当事者・WA 会）

・閉会あいさつ 菌部英夫 JD 副代表

お申し込み・お問合せ先 NPO 法人 日本障害者協議会（JD）

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1 TEL:03-5287-2346 FAX:03-5287-2347

E メール：office@jdnet.gr.jp

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

